

都留・ヘンダーソンビル姉妹都市提携

十周年記念総会に出席して

友好委員会理事 堀江 照 夫



10周年記念総会

業の駐在員の家族等々が集まりました。

ウエドキンズ会長、トンブソン市長の挨拶の後、都留市長をはじめ、ライオンズ、ロータリー、JC等々各界代表のメッセージビデオが大スクリーンに映し出されましたので通訳いたしました。続いて、今年五月に都留市で行われた十周年記念行事のビデオが放映され笑いあふれる中で鑑賞いたしました。その後、ゲストスピーカーとして持ち時間二十分でスピーチを行いました。

十月二十一日、ヘンダーソンビル市で開かれた姉妹都市提携十周年記念総会にヘンダーソンビル市の招請に応じてゲストスピーカーとして出席いたしました。

当日会場となったのは、桂高校の姉妹校であり昨年新築されたばかりのヘンダーソンビル高校の講堂でした。ベッツィ・ウエドキンズ会長をはじめとする友好委員会メンバー、姉妹都市提携当初からの歴代四名の市長夫妻、地元大学の学長、高校の先生方や校長先生、来年三月の桂高校生受け入れ予定ホスト・ファミリー、日系企

業の駐在員の家族等々が集まりました。更には、これまでの交流を通して異人種、異文化の交流そのものの中に、お金では買えない大きな喜びのあることを発見したと付け加えました。最後に今後両市の交流がシステムや文化の背景が異なっても共通の感情を分かちあえる人的交流を基盤に、同時代にこの地球上に存在した者同志としてお互いより深く理解しあえるよう努めたい、それが世界平和のために私たち一人ひとりが市民レベルで出来る重要な役割ではないかと訴えました。



10周年を記念して建てられた gazabo(見晴らし台)

聴衆の笑い声やモンティ・デイス元市長やウッディ牧師が大きく頷いてくれるのに励まされて、

予定時間を二分オーバーして無事スピーチを終えることが出来ました。

その後は、パーティーに移り夜十時過ぎまで多くの方々と歓談いたしました。

翌二十二日夜は、「ツル・ミーティング」と名付けたウエドキンズ会長主催のパーティーが会長の自宅で催され前夜の主だった顔ぶれ、四組の現・元市長夫妻をはじめとする各界の代表者や友好委員会のメンバーがまたまた揃い夜遅くまで談笑が続きしました。

正味三日間でしたが、市長さん自ら一日車を運転して市内を案内してくださり、昼食も夕食も一緒にさせて頂くなど大変あたたかいおもてなしを受けました。

ヘンダーソンビル市はテネシー州の州都であり、カントリーウエスタンの本場であるナッシュビルの郊外にあり、そのベッドタウンです。オールドヒッコリー湖を囲む静かな美しい佇まい。そこに住む人々のキリスト教精神に裏打ちされた温かな心。私は学生時代からヨーロッパをはじめ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ロシア、アジア、中近東などいくつかの大きな街や小さな町を訪れる機会に恵まれましたが、ヘンダーソンビル市は格別心おだやかな品位のある町だと思えます。物質文明の極致に達したアメリカが、人間生活にとって、実はなにが本當に大切



歴代市長夫妻に囲まれて

なのかを暗示してくれるような町、私にはそのように感じられました。JCが「都留の宝」としてヘンダーソンビル市を挙げていますが、正に都留市の財産であると思います。手さぐり状態で始まった姉妹都市の交流ですが、一人でも多くの市民の皆さんにヘンダーソンビル市とそこに住む人々の素晴らしさを味わっていただきたいと思っています。地球の裏側に友人を作り、交流を深め、常にグローバルな視野を持って生きていくことは、素晴らしいことだと思います。別れ際に空港で会長からシンボルとしての家の鍵を手渡されました。いつでもアメリカに来てこれで私の家を開けてお入りください——と。これは都留市民とヘンダーソンビル市民の関係を象徴するものでありと私は思っております。